

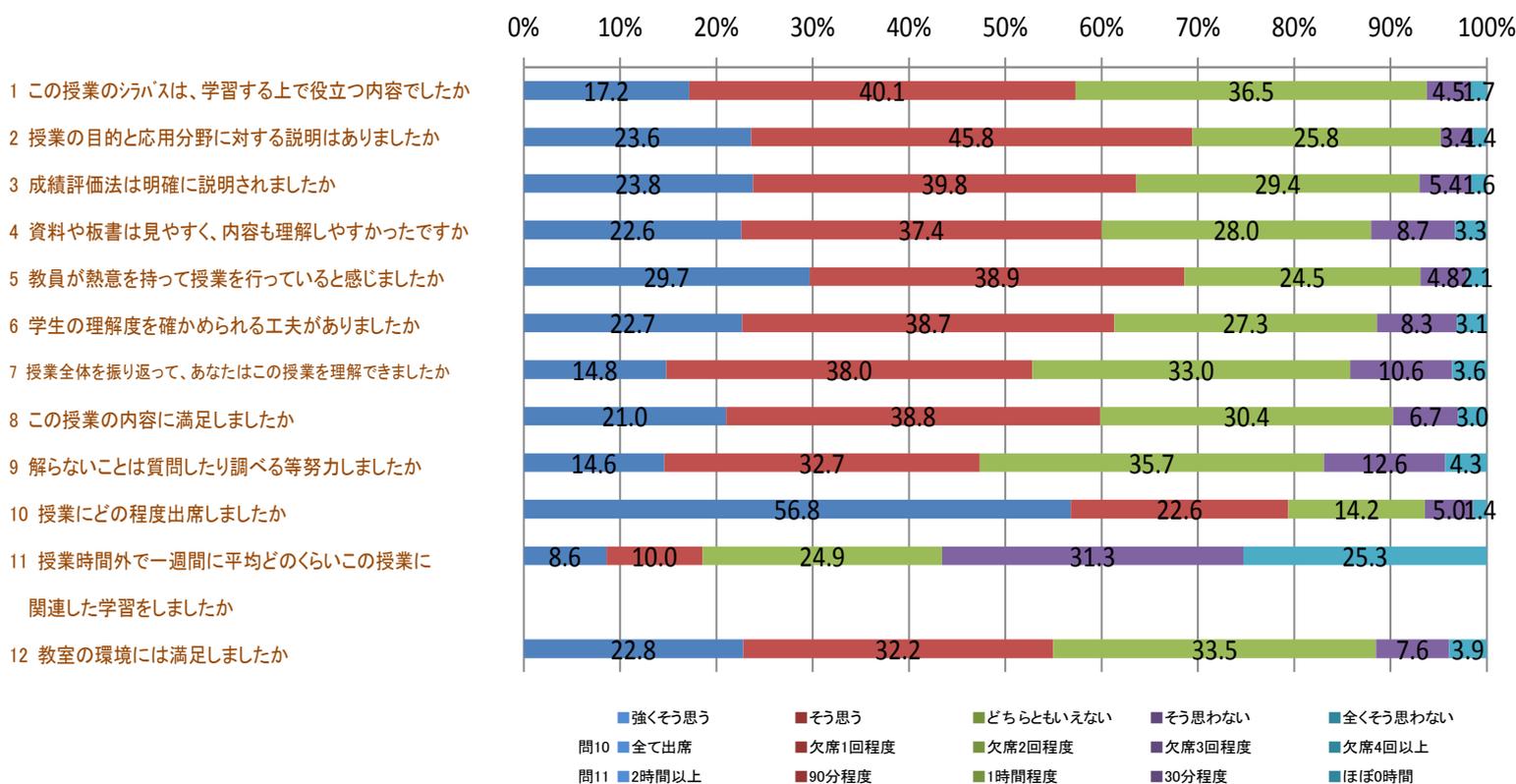
2015 年度前期

授業改善アンケート結果について

システムデザイン学部・研究科FDニュース No. 11

《学生の皆さんへ》システムデザイン学部・研究科では2015年7月1日～8月3日の期間、学部と研究科で前期に開講された講義科目を対象に授業改善アンケートを実施しました。今回も多くの学生の皆さんに回答していただきました。ご協力大変ありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。詳しくはシステムデザイン学部 HP に掲載されています。そちらもご覧ください。

システムデザイン学部(対象授業科目数 81 のうち 64 科目からの回答)



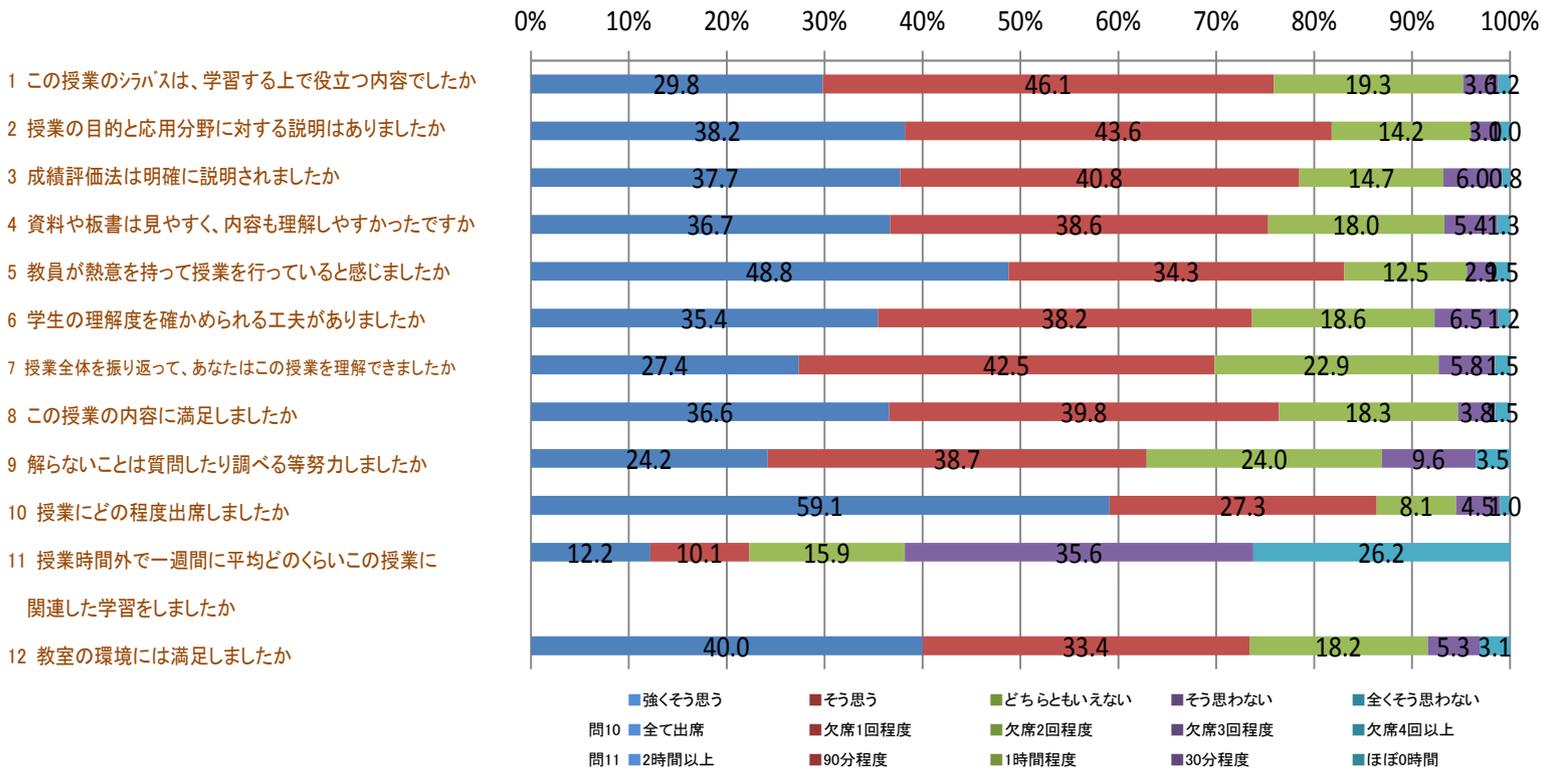
▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・ほとんどがスライドを用いて授業をし、講義内容を資料として配布してくれたことが良かった。
- ・教科書には演習問題がなく、自分の理解度を確かめにくかったので、毎回レポート課題を出すなり、演習の例題を授業でやる等のことをしてほしかった。
- ・教室のプロジェクタの調子が悪いようで、端が切れていた。直してほしい。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・授業内容を60分程度の講義と30分復習を兼ねた小テストに分け、集中力の維持で効果を高めた。また、講義資料を事前にWebにアップロードしている。
- ・小テストあるいはkibacoを利用した課題提出を毎回課した。
- ・中間テストと期末テストを実施しているものの、レポートは1回のみ。自宅学習をしてもらいたいため、レポートを増やしたい。

システムデザイン研究科 (対象授業科目数 43 のうち 39 科目からの回答)



▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

- ・学生とのやり取りを大切にされていたので、常に頭を回転させた状態で講義に挑めました。
- ・あるソフトウェアがインストールされている前提でのレポート課題が課されたので、履修案内にその旨を書いていたければ、もっと資料が作りやすかった。
- ・5月の暑い日にクーラーが入ってなくて辛い時があった。

▶ 授業担当者からのコメント

- ・学域の異なる学生でも理解できるトピックを取り入れた。
- ・学生は真面目でレポートの文章力も良いが、積極的な発言や好奇心が乏しい。
- ・履修人数が 100 名程度と多過ぎるために個人の意見を聴く時間がとれず、授業が一方方向的になり易い傾向にある。

システムデザイン学部・研究科 FD 部会から

2015 年度前期アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。各設問での回答に加えて、自由記述欄からは数字で表せない実態を得ることができています。これらのアンケート結果は回答者個人の特定ができないような形に処理されたうえで、教員にフィードバックされ、教育状況の把握と授業改善の参考に利用されています。また、老朽化が進んでいた2号館3、4階のプロジェクター、オーディオ機器は、今年度夏季休業期間に改修が行われました。今後とも、授業及び教室環境の改善のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京
システムデザイン学部・研究科 FD 部会
2015 年 11 月 20 日